

平成29年度事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

第1 概要

平成29年度の畜産をめぐる情勢は、輸入飼料価格及び生産資材の高止まりにより、畜産経営に大きな影響を与えている。一方、畜産物の価格は各畜種とも高相場を維持しているものの、天候や伝染病の影響に加え、飼養頭数の減少による生産基盤の脆弱化による要因が大きく、今後も予断を許さない状況である。

特に、比較的堅調であった畜産物価格の中において、鶏卵の価格が29年度末より低迷しており、また、肉用牛においても高値で導入した子牛が肥育牛として出荷される時期に差し掛かり、大幅な収益の悪化が懸念されている。

加えて、昨年7月に大筋合意、本年3月に正式合意されたTPP（環太平洋経済連携）11については、国は早期に可決・成立させたい考えであり、EPA、FTA等を含め、今後の貿易交渉がより厳しいものになることが懸念されている。食料自給率40%の我が国にとっては、畜産物を含む食糧の安定的な供給の上でも、非常に重要な課題となっている。

家畜衛生面では、近隣諸国において口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の悪性伝染病が継続的に発生する中、国内において本年1月には高病原性鳥インフルエンザが香川県の肉用鶏飼養農場1戸において発生した。野鳥においては、3都県44事例のウイルス分離報告があるなど、引き続き大きな不安材料が存在していることから、一層の家畜防疫・衛生体制の充実が求められている。

こうした情勢を背景に、国は平成29年度補正予算においても、畜産関連には手厚い予算を措置し、畜産クラスター事業をはじめ中核的な担い手に対する重点的な各種施策を推進している。

このような中、当協会は平成25年度から公益社団法人に移行して5年が経過し、会員団体や関係機関との有機的な連携を図りながら業務を推進している。

公益目的事業1においては、子牛価格の高騰により肉用子牛生産者補給金は交付されない一方、肉用牛肥育経営安定特別対策においては、交雑種・乳用種で継続して発動があり、毎月、補填金を交付する措置を続けてきた。公益目的事業2においては、畜産収益力強化対策、担い手生産者や指導者の育成、家畜衛生面の指導、消費者への理解醸成を行ない、公益目的事業3において、畜産経営体支援、家畜防疫支援を実施し、本県における畜産振興を図ってきた。

第2 会議及び人事関係等

1. 総 会

(1) 定時総会 平成29年6月29日(木)

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

- 第1号議案 平成28年度事業報告及び決算の承認に関する件
- 第2号議案 定款の一部変更に関する件
- 第3号議案 任期満了に伴う役員改選等に関する件

(2) 臨時総会 平成30年3月28日(水)

大津橋ビル5階大会議室において、2項目について報告するとともに、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

- 報告事項 平成29年度収支予算補正に関する件
平成30年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
- 第1号議案 平成30年度会費徴収に関する件
第2号議案 役員の報酬に関する件
第3号議案 役員の補欠選任に関する件

2. 理事会

(1) 第1回理事会 平成29年6月13日(火)

大津橋ビル5階中会議室において、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得るとともに1項目について報告した。

議事

- 第1号議案 平成28年度事業報告及び決算の承認に関する件
第2号議案 定款の一部変更に関する件
第3号議案 任期満了に伴う役員改選等に関する件
第4号議案 平成29年度定時総会開催に関する件
報告事項 職務執行状況等

(2) 第2回理事会 平成29年6月29日(木)

大津橋ビル5階小会議室において、提案された議案について審議し、承認を得た。

議事

- 第1号議案 代表理事及び業務執行理事等の選定に関する件

(3) 第3回理事会 平成30年3月13日(火)

大津橋ビル5階中会議室において、1項目について報告するとともに、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得た。

議事

- 報告事項 職務の執行状況に関する件
- 第1号議案 平成29年度収支予算補正に関する件
第2号議案 平成30年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
第3号議案 平成30年度会費徴収に関する件
第4号議案 平成30年度歳計現金預入先に関する件
第5号議案 平成30年度一時借入金の最高限度額決定に関する件
第6号議案 役員の報酬に関する件
第7号議案 平成30年度予防注射料金に関する件
第8号議案 諸規程の一部改正に関する件
第9号議案 役員の補欠選任に関する件
第10号議案 臨時総会の招集に関する件

(4) 第4回理事会 平成30年3月28日(水)

大津橋ビル5階大会議室において、提案された議案について審議し、承認を得た。

議事

- 第1号議案 業務執行理事の選定に関する件
第2号議案 事務局長の任免に関する件

3. 監査会及び監事会

(1) 会計監査人による監査会 平成29年6月1日(木)

大津橋ビル5階小会議室において、会計監査人により平成28年度財産管理状況・決算状況について監査を受けた。

(2) 定期監査 平成29年6月5日(月)

大津橋ビル5階小会議室において、平成28年度理事の業務執行状況並びに財産管理状況・決算状況について、監査を受けた。

4. 役員 の 状 況

区 分	本年度当初 (29年4月1日)	役員改選 (29年6月29日)	増 減		本年度末 (30年3月31日)
			辞 任	就 任	
理 事	9	9	3	3	9
監 事	3	3	1	1	3

(平成30年3月31日理事1名辞任、平成30年4月1日理事1名就任)

5. 会 員 の 状 況

年度当初会員数：20会員

年度末会員数：20会員

6. 職 員 数 (平成30年3月31日現在)

職 員 6名(出向職員1名<>内) 嘱託職員 3名

区 分	職 員	嘱託職員	計
事務局長	1	—	1
経営安定課	2 <1>	1	3 <1>
畜産振興課	2	2	4
総務管理課	1	—	1
計	6 <1>	3	9 <1>

7. 関係機関等の会議出席状況 (県域以上)

年 月 日	場 所	会 議 名 等
29. 4. 20~21	東 京 都	畜産特別資金等担当国会議
29. 4. 24	名 古 屋 市	愛知県畜産課事業説明会
29. 4. 27	東 京 都	酪農経営体生産性向上緊急対策事業第1回全国事業推進会議
29. 4. 28	東 京 都	畜産クラスター事業全国推進会議
29. 5. 12	名 古 屋 市	畜産生産基盤回復に係る強化推進検討会
29. 5. 19	東 京 都	飼養衛生管理基準全国啓発普及促進説明会会議
29. 5. 30	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会総会
29. 6. 5	名 古 屋 市	一般社団法人名古屋コーチン協会総会
29. 6. 7	名 古 屋 市	いいともあいち運動推進協議会
29. 6. 8	名 古 屋 市	農業競争強化プログラム事業説明会
29. 6. 19	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養鶏協会総会
29. 6. 20	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県農業会議通常総会
29. 6. 20	東 京 都	全国農場HACCP認証推進会議

年 月 日	場 所	会 議 名 等
29. 6. 20	東 京 都	一般社団法人全国肉用牛振興基金協会総会
29. 6. 21	東 京 都	公益社団法人中央畜産会総会
29. 6. 30	名 古 屋 市	愛知県信用農業協同組合連合会通常総会
29. 6. 30	名 古 屋 市	愛知県養豚農協通常総会
29. 7. 20～21	岐 阜 県	東海4県家畜衛生ブロック会議
29. 7. 25	幸 田 町	愛知県酪農農業協同組合総会
29. 7. 27～28	栃 木 県	畜産特別資金ブロック会議
29. 7. 28	東 京 都	馬飼養衛生管理全国推進会議
29. 7. 31	東 京 都	地域豚疾病緊急対策推進事業推進検討会
29. 8. 1	岡 崎 市	肉用子牛生産者補給金制度及び肉用牛肥育経営安定経営 特別対策事業担当者推進会議
29. 8. 18	岡 崎 市	畜産フェスタ打合せ会議
29. 8. 22	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県農業会議臨時総会
29. 8. 24	東 京 都	酪農経営体生産性向上緊急対策事業第2回全国事業推進会議
29. 8. 25	名 古 屋 市	愛知県水田農業検討会議
29. 9. 14～15	新 潟 県	肉用子牛運営適正化事業北陸東海近畿ブロック研修会
29. 9. 19	名 古 屋 市	愛知県人権問題啓発促進連絡会議
29. 9. 19	岡 崎 市	畜産フェスタ打合せ会議
29. 10. 5	岡 崎 市	人権問題の講演と映画の会
29. 10. 14	岡 崎 市	畜産フェスタ
29. 10. 18～19	三 重 県	東海ブロック畜産協会連絡協議会
29. 10. 22	岡 崎 市	愛知県ホルスタイン共進会
29. 11. 4	岡 崎 市	たまニコ2017愛知大会
29. 11. 7	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県農業会議第2回臨時総会
29. 11. 15	名 古 屋 市	GAP取得チャレンジシステム取組セミナー
29. 11. 16	名 古 屋 市	JGAP【家畜・畜産物】取得支援研修会
29. 11. 20	東 京 都	地域豚疾病緊急対策推進事業第2回推進検討会
29. 11. 20	岡 崎 市	畜産フェスタ打合せ会議(反省会)
29. 11. 24	東 海 市	知多養鶏農協50周年記念式典
29. 11. 27	半 田 市	東海地域飼料増産行動推進会議研修会
29. 12. 1	東 京 都	畜産近代化リース業務推進事務打合せ会議
29. 12. 14	名 古 屋 市	畜産フェア(名古屋競馬場)
29. 12. 19	名 古 屋 市	畜産技術業績発表会
30. 1. 18～19	名 古 屋 市	会計検査院第4局農林水産検査第3課会計実地検査
30. 1. 25～26	東 京 都	肉用子牛生産者補給金制度等に係る業務研修会
30. 1. 30	岡 崎 市	愛知県人工授精師協会繁殖管理講習会
30. 1. 31	東 京 都	酪農経営体生産性向上緊急対策事業第3回全国事業推進会議
30. 2. 23	名 古 屋 市	東海地域農林漁業成長産業化推進協議会連絡会議
30. 2. 26	東 京 都	家畜防疫互助基金支援事業に係る中央推進会議
30. 2. 27～28	鹿 児 島 県	肉用子牛生産者補給金制度等に係る経理研修会
30. 2. 27	名 古 屋 市	和牛事業打合せ会議
30. 3. 4	名 古 屋 市	県獣医師会学術研究発表会
30. 3. 15	岡 崎 市	死亡牛処理推進協議会
30. 3. 23	東 京 都	肉用牛経営安定対策補完事業全国会議
30. 3. 30	名 古 屋 市	愛知県信用農業協同組合連合会臨時総会

第3 事業関係

1. 公益目的事業

(1) 公1 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

牛肉の輸入等に係る状況の変化が、国内肉用牛生産にもたらす影響を緩和するため、肉用子牛の価格が低落した場合や肥育経営の収益性が悪化した場合に補填金等を交付して、肉用牛の再生産が確実に実施されるよう措置した。

ア 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、補給金交付契約を締結した肉用子牛生産者に対して、子牛の平均売買価格が国が定める保証基準価格を下回った場合は(独)農畜産業振興機構から生産者補給金を交付し、合理化目標価格を下回った場合には生産者負担金と県補助金および機構補助金で造成した生産者積立金から生産者補給金を交付することにより、肉用子牛の生産と価格の安定を図り、肉用子牛生産経営の健全な発展を期した。

ただし、平成29年度は子牛価格の高騰により補給金交付の発動はなかった。

- ・委託団体数 13団体、契約生産者 188 者
 - ・担当者推進会議 1回(平成29年8月1日、岡崎市)
 - ・事務委託先団体調査指導 45日 延べ 45 団体
 - ・H29.1~12個体登録頭数 7,058 頭
(6ヶ月齢頭数)
- | | |
|--------|---------|
| ・黒毛和種 | 1,125 頭 |
| ・肉専その他 | 1 頭 |
| ・交雑種 | 3,976 頭 |
| ・乳用種 | 1,956 頭 |

① 生産者補給金交付契約締結状況

契約生産者 188者	内訳：個人経営 156者、組合法人 4者、会社法人 28者
------------	-------------------------------

② 事務委託先

区 分	団 体 名
農 協 連 (1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(10)	あいち尾東農業協同組合、あいち海部農業協同組合、あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協 (1)	愛知県酪農農業協同組合
そ の 他 (1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③ 生産者積立金造成実績

【生産者積立金単価】登録日：6月齢－1日(積立は四半期毎)

(単位：円)

区 分	生産者負担額	県費補助額	機構補助額	計
黒毛和種	300	300	600	1,200
その他肉専用種	3,100	3,100	6,200	12,400
交 雑 種	600	600	1,200	2,400
乳 用 種	1,600	1,600	3,200	6,400

(単位：円)

区 分	造 成 額 内 訳			合 計
	生産者負担額	県費補助 積立助成金	機構生産者 積立助成金	
黒毛和種	337,500	337,500	675,000	1,350,000
その他肉専用種	3,100	3,100	6,200	12,400
交 雑 種	3,129,600	3,129,600	6,259,200	12,518,400
乳 用 種	2,385,600	2,385,600	4,771,200	9,542,400
計	5,855,800	5,855,800	11,711,600	23,423,200

④ 生産者補給金交付実績

(単位：円)

区 分		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	計
黒	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	0
毛	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	0
他	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	0
交	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	0
雑	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	0
乳	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	0
用	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	0
種	頭数	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
計	頭数	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0

参考：発動基準

(単位：円)

区 分	黒毛和種	その他肉専	乳用種	交雑種
保証基準価格	337,000	220,000	133,000	205,000
	339,000	221,000	136,000	210,000
合理化目標価格	280,000	149,000	90,000	147,000
	282,000	150,000	93,000	152,000

*保証基準価格及び合理化目標価格上段は、H29.1～3、下段は、H29.4～

イ 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金制度における肉専用子牛飼育経営体への補完事業として、肉用専用子牛の平均売買価格が発動基準を下回った場合に支援交付金を交付する事業である。

29年度は「その他肉専用種」で発動（第2・3・4四半期）があったが、本県では該当がなかった。

参考：発動基準

(単位：円)

区 分	黒毛和種	その他肉専用種
発動基準価格	460,000	300,000

ウ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

肉用牛生産基盤の安定と拡大に資するため、肉用牛肥育経営で粗収益が生産費を下回る収益性悪化時に、生産者の拠出と(独)農畜産業振興機構補助金で造成した基金から、全国

統一算定単価での補填金を交付し、県内肉用牛肥育経営の安定を図った。

業務推進にあつては、生産者の肥育牛の個体登録、及びその販売確認等の効率かつ円滑な推進を図るため、関係団体に一部の業務を委託して事業を実施するとともに、第3業務対象年間（平成28～30年度）においても、肉用牛肥育を取り巻く経営環境を考慮し、本来四半期単位での補填業務を、引き続き月毎に交付する特例措置で行った。

- ・委託団体数 11団体 契約生産者数183者
- ・推進会議等 担当者推進会議 1回（平成29年8月1日 岡崎市）
- ・調査指導等 13回 延べ12団体 2者
- ・平成29年2月期～平成30年1月期 個体登録頭数 19,755 頭
肉専用種 2,902 頭、交雑種 14,053 頭、乳用種 2,793 頭

① 生産者補填金交付契約締結状況

契約生産者 183者	内訳：個人経営 133者、組合法人 2者、会社法人 48者
------------	-------------------------------

② 委託先契約締結状況

区分	団体名
農協連 (1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協 (8)	あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協 (1)	愛知県酪農農業協同組合
その他 (1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③ 肉用牛肥育経営安定特別基金造成実績 (H29.2～H30.1)

【基金造成単価】

(単位：円)

区分	平成28年度			平成29年度			積立月 (達する月)
	生産者	機構	計	生産者	機構	計	
肉専用種	10,000	30,000	40,000	6,000	18,000	24,000	25ヵ月齢
交雑種	25,000	75,000	100,000	19,000	57,000	76,000	22ヵ月齢
乳用種	17,000	51,000	68,000	22,000	66,000	88,000	18ヵ月齢

(単位：円)

区分	造成額内訳			合計
	頭数	生産者積立金	機構補助金	
肉専用種	2,776	18,580,000	55,740,000	74,320,000
交雑種	14,132	280,772,000	842,316,000	1,122,962,000
乳用種	2,815	64,242,000	192,726,000	256,968,000
計	19,723	363,594,000	1,090,782,000	1,454,242,000

④ 肥育牛補填金交付実績

(単位：頭、円)

区分		1月期精算	H29.2月期	3月期	4月期	5月期
肉専用種	頭数	149	200	183	238	177
	単価	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
交雑種	頭数	1,079	1,097	1,138	1,297	1,071
	単価	0	30,700	39,000	10,800	48,300
	金額	0	33,677,900	44,382,000	14,007,600	51,729,300

(単位:頭、円)

区分		1月期精算	H29.2月期	3月期	4月期	5月期
乳 用 種	頭数	198	230	219	212	203
	単価	3,800	75,200	70,700	55,200	39,900
	金額	752,400	17,296,000	15,483,300	11,702,400	8,099,700
計	頭数	1,426	1,527	1,540	1,747	1,451
	うち交付	198	1,327	1,357	1,509	1,274
	金額	752,400	50,973,900	59,865,300	25,710,000	59,829,000

区分		6月期	7月期	8月期	9月期	10月期
肉 専 種	頭数	195	253	174	209	209
	単価	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
交 雑 種	頭数	1,111	1,179	1,146	1,049	1,220
	単価	56,600	64,400	81,000	73,500	72,700
	金額	62,882,600	75,927,600	92,826,000	77,101,500	88,694,000
乳 用 種	頭数	252	244	264	273	296
	単価	39,400	39,900	45,900	39,200	35,300
	金額	9,928,800	9,735,600	12,117,600	10,701,600	10,448,800
計	頭数	1,558	1,676	1,584	1,531	1,725
	うち交付	1,363	1,423	1,410	1,322	1,516
	金額	72,811,400	85,663,200	104,943,600	87,803,100	99,142,800

区分		11月期	12月期	1月期概算	H29.1～H30.1期概算計
肉 専 種	頭数	285	407	168	2,847(内交付0)
	単価	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0
交 雑 種	頭数	1,321	1,439	994	15,141(内交付14,062)
	単価	60,000	30,000	46,100	—
	金額	79,260,000	43,170,000	45,823,400	709,481,900
乳 用 種	頭数	267	264	214	3,136
	単価	23,500	21,200	25,000	—
	金額	6,274,500	5,596,800	5,350,000	123,487,500
計	頭数	1,873	2,110	1,376	21,124
	うち交付	1,588	1,703	1,208	17,198
	金額	85,534,500	48,766,800	51,173,400	832,969,400

*2～1月期 → 4月～3月交付、H29.1月精算→H29.5月交付

(2) 公2 畜産経営の安定・向上と畜産の理解醸成に関する事業

国際化の進展や国内産地間競争の激化、畜産生産コストの上昇などで厳しさを増す畜産経営等に対して、経営や技術の改善のための適切な指導や情報提供を実施するとともに、消費者に対して畜産物の理解を深めてもらい、畜産経営等を支援した。

ア 畜産経営体の経営・技術指導に関する事業

- ① 地域畜産支援指導等体制強化（愛知県補助金・地方競馬全国協会補助金・(公社)中央畜産会(委託金・助成金)・図書斡旋収入）
 ・畜産経営支援に必要な指導を実施し、当協会のホームページを畜産ネットワーク(LIN)上に開設し、畜産経営に係る各種情報提供を逐一実施した。

- ・ 県域の家畜登録団体が実施する登録事業を支援し、県内の優良家畜生産に寄与した。：3団体
 - ・ 県内の畜産団体と近況把握、情報共有のための連絡会議を実施、又は関係会議への出席により、各種情報を把握し、畜産経営支援の実施組織体制を強化した。
 - ・ 家畜衛生体制強化を図るため、衛生体制強化基金事業を実施した。
 - ・ 経営技術指導の一環として図書斡旋販売を実施した。
- ② 畜産特別資金推進指導 ((公社)中央畜産会補助金)
- 畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、県関係機関・関係団体の協力を得て、経営改善計画の達成に向けた指導を行うとともに、県協議会において、その成果と改善指導方針について検討・協議を行った。
- ・ 現地検討会・指導会の実施 延べ5回 118人(田原市)
対象：酪農家 1戸(大家畜経営改善支援資金)
肉牛農家1戸(畜産経営維持緊急支援資金)
 - ・ 愛知県畜産経営改善推進協議会の開催1回(平成30年3月5日 豊橋市)
- ③ 畜産近代化リース貸付指導 ((公財)畜産近代化リース協会委託金)
- 畜産経営の合理化のために畜産近代化リース協会の貸付事業で設置された生乳冷却貯蔵施設、搾乳施設等のリース物件について、その管理状況等の確認指導を行うとともに、リース事業の普及啓発用資料を作成・配布した。
- ・ 調査指導件数 5戸、8基 (H29.11月～12月)
(豊橋市3戸、設楽町2戸)
 - ・ 普及啓発資料作成 400部
- ④ 畜産クラスター機械導入体制強化 ((公社)中央畜産会委託金)
- 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)の機械導入事業の県域窓口団体として、事業打合会議の開催、事業参加申請書等の取りまとめを行った。
- ・ 事業打合会議 2回 平成29年 4月24日 18名
平成30年 3月27日 8名
 - ・ 事業参加承認 12協議会、38件 190,182千円(補助金額)
 - ・ 現地調査 4件
- ⑤ 酪農経営体生産性向上(労働負担軽減)((公社)中央畜産会委託金)
- 酪農経営体生産性向上緊急対策(労働負担軽減)事業の機械導入の円滑な実施を図るため、県域窓口団体として楽酪応援会議から提出された申請書類の点検等を実施し、酪農家の労働負担軽減・省力化及び飼養管理技術の高度化を図った。
- ・ 事業参加 1応援会議、15件 49,919,800円(補助金額)
 - ・ 現地調査 8件
- ⑥ 畜産団体調整機能強化 ((公社)中央畜産会委託金)
- 畜産経営を取り巻く情勢が厳しさを増す中で、将来にわたり本県の酪農・和牛繁殖を担う生産者を参集し、受精卵移植のメリットについて講演会を実施し、畜産の部門を越えた生産者同士による意見交換を行った。
- ・ 懇談会・意見交換会等の開催 1回(平成30年3月20日)
懇談会テーマ：酪農家・和牛繁殖農家の相互協力による優秀繁殖後継牛の生産拡大及び受精卵移植による受胎率の向上について
講演：ETするなら、今でしょ!?
繁殖成績改善のための体外受精卵移植利用
講師：山本動物ETクリニック 獣医師 山本 広憲 氏
意見交換参加者：生産者 6名、情報提供者 1名、県・団体関係者 5名、畜産コンサルタント 1名、その他 1名 計 14名

- ⑦ 農場HACCP取組体制緊急強化 ((公社)中央畜産会委託金)
 地域における農場HACCP関係者による、普及推進のための方策の検討、農場への取組みの周知など、農場HACCP認証の広範勝加速的な普及を図った。
 ・農場HACCP認証普及推進会議の開催：2回(36名)
 平成29年12月1日 岡崎市(21名)、平成30年3月9日 岡崎市(15名)
- ⑧ 地域豚疾病緊急対策推進 ((公社)中央畜産会委託金)
 農場を含む自衛防疫組織を活用して、養豚農場で生産性を著しく阻害する疾病(PED、PRRS)の発生低減対策を立案し、それに基づいた衛生対策を行い、疾病の発生を低減し、まん延を防止することで生産性の向上を図った。
 ・事業打合会議 2回 平成29年4月24日 18名
 ・地域推進会議 3回 平成29年8月8日 19名
 平成29年9月13日 16名
 平成30年3月2日 25名
 ・連携体制打合せ 2回 平成29年8月8日、平成30年3月9日
 ・PED清浄化推進検査 遺伝子検査 270検体
 ・PRRSモニタリング検査 抗体検査 1,222検体、遺伝子検査 495検体
 ・巡回指導 16農場
- ⑨ 飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進推進 ((公社)中央畜産会委託金)
 「飼養衛生管理基準」の改正後の情報を関係者に迅速に周知・徹底し、不測の事態に備えた防疫体制の強化・推進を図った。
 ・地域啓発普及促進委員会 1回 平成30年2月28日 名古屋市(14名)
 ・啓発普及説明会 10回(4/24、5/16、5/25、5/30、6/5、6/13、6/19、6/30、7/6、9/1)
- ⑩ 自衛防疫体制強化推進 (家畜衛生対策推進協議会委託金)
 伝染性疾病発生時の防疫対応等を支援するため、防疫演習や飼養衛生管理基準に基づく防疫対策への取組の徹底、啓発等を行い、地域自衛防疫体制の強化・定着を図った。
 ・地域自衛防疫体制強化推進会議の開催：2回(41名) 平成29年8月21日 名古屋市
 平成30年2月28日 名古屋市
 ・県域防疫演習 1回 平成29年9月1日(県と共催 239名 岡崎市)
 「鳥インフルエンザ・口蹄疫県域防疫研修会」
 講演：岐阜県のHPAI発生とその対応について
 講師：岐阜県農政部畜産課 家畜防疫対策監 長野 博子氏
 ・地域防疫演習 13回 $\left[\begin{array}{l} 7/13、9/26、9/29、10/3、10/17、10/19、10/23、10/25、11/7、 \\ 11/14、11/16、11/22、11/29 \end{array} \right]$

イ 馬の飼養衛生管理に関する情報提供及び調査

- ① 馬飼養衛生管理特別対策 ((公社)中央畜産会委託金)
 馬の防疫体制確立に向け、関係者・関係機関と連携して委員会及び講習会を開催するとともに、競走馬以外の馬の地域馬獣医療体制の実態を把握するための実態調査を実施した。
 ・地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催
 1回 平成29年12月8日 名古屋市 8名
 ・馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催
 1回 平成29年12月8日 名古屋市 23名
 講演：馬の日常の栄養管理と飼養衛生管理について
 講師：日本中央競馬会 日高育成牧場 主任研究役
 栗東トレーニングセンター競走馬診療所 防疫課長

ウ 畜産物に関する理解醸成・情報提供

① 畜産物に関する理解情勢・情報提供 (名古屋競馬株式会社補助金)

畜産物の生産者と消費者が直接交流する場や、消費者に本県で生産された畜産物に対する理解を深めてもらうため、試食会・啓発資料配布を実施する畜産フェスタや県内畜産物の品質や安全性に関する啓発により、畜産物消費を促進する畜産フェア等の開催を通じて、消費者に対し県内畜産物に関する相談、情報提供や適切なアドバイスを実施した。

(参考) 畜産フェスタの開催

期 日：平成29年10月14日

開催場所：岡崎市(愛知県畜産総合センター ふれあいドーム)

畜産物の配布：牛乳入りパン、コーチン・キーマカレー、ハチミツ、
燻製うずら卵

畜産フェアの開催

期 日：平成29年12月14日

開催場所：名古屋市(名古屋競馬場)

畜産物の配布：名古屋コーチンカレーと燻製うずら卵のセット
(1,000セット) 全酪6Pチーズと燻製うずら卵のセット
スモークチーズと燻製うずら卵のセット

エ 畜産に関する表彰事業

① 高橋養鶏賞顕彰事業基金

高橋養鶏賞顕彰事業実施要領・顕彰規程及び選考審査基準に基づき、選考委員会で養鶏の振興発展に寄与され、その功績が顕著な者を受賞者として決定し授賞式を行った。

- ・高橋養鶏賞選考委員会 平成29年5月31日
- ・第42回高橋養鶏賞受賞者 鋤柄 恵子 氏〔技術研究部門〕
花井 千治 氏、大谷 博 氏〔経営部門〕
中野 滝宗 氏〔青年・女性部門〕
- ・高橋養鶏賞表彰式 平成29年6月29日

② 家畜品評会等の優秀家畜の表彰

家畜品評会等の優秀者に対し、褒賞を授与した。

- ・4団体催事：賞状6点、副賞10点

(3) 公3 畜産経営支援活動及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業

厳しさの増す畜産経営に対して、経営改善のための高能力家畜の導入助成、共同生産活動強化の助成及び家畜伝染病発生時の経営再開助成等の支援により、安定継続できる経営体を支援した。

ア 畜産経営支援に関する事業

① 地域における肉用牛生産基盤強化等対策 ((独) 農畜産業振興機構補助金)

肉用牛生産基盤の強化や肉用牛生産の振興を図るため、優良な繁殖雌牛の増頭をした地域の中核的担い手生産者に奨励金を交付するとともに、中山間地域の肉用牛生産基盤の維持の一翼を担っている肉用牛ヘルパー組織への支援を実施した。

- ・増頭奨励金交付対象頭数 114 頭

〔 JA愛知東 21 頭、JAあいち尾東 2 頭、JAあいち知多 54 頭、JA愛知みなみ 9 頭、愛知県酪農農協 11 頭、愛知県配飼協 17 頭〕

- ・支援対象肉用牛ヘルパー利用組合 1 組合
(JA愛知東：肉用牛ヘルパー利用組合)
実績 … 飼養管理 2 戸 延べ36日、家畜市場関係 (市場内引回し等) 375 頭

イ 家畜防疫支援に関する事業

① 家畜生産農場清浄化支援 (農林水産省補助金及び手数料)

慢性疾病の清浄化対策とアカバネ病等異常産の発生・流行の防止対策を推進するとともに、自衛防疫推進のための会議と講習会等を実施した。

また、補完的に当協会独自の衛生事業も実施した。

- ・ヨーネ病対策検討会の開催 3 回 (5/26、11/24、2/14) 岡崎市 47 名
- ・ヨーネ病対策講習会の開催 1 回 (2/14) 岡崎市 20 名
- ・ヨーネ病検査 1 農場 63 頭
- ・牛白血病対策検討会の開催 3 回 (5/26、11/24、2/14) 岡崎市 47 名
- ・牛白血病対策講習会の開催 1 回 (2/14) 岡崎市 20 名
- ・牛白血病検査 50 農場 2,374 頭
うち吸血昆虫忌避・駆除対策実施 11 農場 793 頭
- ・BVD-MD対策検討会の開催 3 回 (5/26、11/24、2/14) 岡崎市 47 名
- ・BVD-MD対策講習会の開催 1 回 (2/14) 岡崎市 20 名
- ・PI牛とう汰 8 農場 11 頭
- ・農場飼養衛生管理強化対策
飼養衛生管理強化推進講習会の開催 1 回 (7/24) 名古屋市 4 名
飼養衛生管理強化のための農場指導 2 診療施設 62 農場
- ・ワクチン接種技術検討会の開催 2 回 (7/24、3/14) 名古屋市 35 名
- ・伝染病予防ワクチン接種状況
牛 計 5,836 頭

牛異常産三種混合ワクチン	1,358 頭
牛異常産四種混合ワクチン	1,308 頭
アカバネ病単味ワクチン	3,170 頭
- ・協会独自事業(家畜衛生事業)
予防ワクチン接種事業
牛 計 35,129 頭

イバラキ病生ワクチン	5,632 頭
伝染性鼻気管炎ワクチン(IBR)	1,404 頭
牛五種混合生ワクチン	7,829 頭
牛五種混合不活化ワクチン	1,660 頭
牛六種混合(L)ワクチン	677 頭
牛六種混合(LK)ワクチン	6,608 頭
ボツリヌスワクチン	11,319 頭

② 家畜防疫互助基金造成等支援 ((独)農畜産業振興機構補助金)

畜産経営に甚大な影響を及ぼす口蹄疫・豚コレラ等の海外悪性伝染病の発生に対し、事業参加者の生産者積立金と(独)農畜産業振興機構補助金で、(公社)中央畜産会に家畜防疫互助基金を造成して、万が一の疾病発生時への影響緩和に備えた。

【加入状況】

(H30.3.31現在)

区分	契約戸数(戸)	契約頭数(頭)	生産者積立金(円)
乳用牛	118	12,401	2,638,435
肉用牛	156	30,668	3,359,190
牛計	274 (うち乳肉45)	43,069	5,997,625

区 分	契約戸数(戸)	契約頭数(頭)	生産者積立金(円)
豚	94	180,655	7,208,270
合 計	368	223,724	13,205,895

【 加入率 】 (県内戸数・頭数：H29.2.1 畜産統計)

区 分	乳用牛		肉用牛		豚	
	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)
県内飼養	319	25,200	337	42,900	204	328,400
契 約	118	12,401	156	30,668	94	180,655
加 入 率	37 %	49 %	46 %	71 %	46 %	55 %

事業推進会議等の開催 2回 (8/21、2/28) 名古屋市 47名

③ 海外悪性伝染病対策支援 (自己資金)

海外悪性伝染病が万が一県内で発生した場合、国・県などの補助対象とならない経費に対して支援することとしているが、発生がなかったため、事業執行はなかった。

- ・対象家畜：牛、豚
- ・対象疾病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚コレラ、豚コレラ等

④ 馬伝染性疾病防疫推進対策 ((公社)中央畜産会委託金)

地域における自主防疫活動の強化を図るため、乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種推進及び馬飼養衛生状況の普及啓発等を推進した。

- ・馬ワクチン接種等検討会の開催 2回 (9/19、12/8) 名古屋市 14名
- ・馬インフルエンザワクチン接種推進 対象施設 18施設、141頭(乗用馬)

2. 収益事業

(1) 収1 事務室等の賃貸

ア 事務室等の賃貸

大津橋ビルの土地・建物について、当協会と一般社団法人大津橋会館が、それぞれ十分の三と十分の七の持ち分(面積比)により大津橋ビル運営委員会を組織するとともに共同管理し、会議室及び事務室の賃貸しを実施した。(事務所入居率 50%)

3. その他事業

(1) 他1 畜産関係団体の事務局を運営する事業

ア 愛知県和牛改良協会の事務局

愛知県和牛改良協会からの業務受託により、公益社団法人全国和牛登録協会の地方審査員の資格をもつ当協会職員が登録事業の推進指導を行うとともに、改良協会の事務局を運営した。